

はくび会ソフトボール大会

5月11日、待ちに待ったはくび会ソフトボール大会～肉体年齢を超えて運動する日～が行われました！一昨年、去年と優勝を果たしている我が畜産資源学研究室としては3連覇がかかっている重要な大会です。毎日厳しい練習にも耐え、第一試合である畜資VS栄養戦に望みました。柳さんの女子ピッチャー返しと、それをカバーする相手チームのまさかのファインプレーもあったものの、14-4と幸先のよい大勝利をおさめました。



続く畜資の第二試合は5月18日の生殖戦！生殖からは南先生、畜資からは廣岡先生出

場と、まさに副題～**肉体年齢を超えて運動する日**～にふさわしい試合となりました。この試合では、畜産資源学研究室技術班が毎日遅くまで残って、試合をより円滑に進めるために作ったボール取るンジャー3号の大切なデビュー戦です。廣岡先生もジャージ姿でびしっと決めて、取るンジャーもまさかの活躍したものの、南先生の気迫に押されたのか、4-7と負けてしまいました…



びしっと決めて、取るンジャーもまさかの活躍したものの、南先生の気迫に押されたのか、4-7と負

残る試合はあと畜資VS憎き連合の優勝決定戦のみです！

連合まさかの優勝なるのか、それとも畜資3連覇なるのか！！次号をお楽しみに！！

(千鶴)



明治屋京都三條ストアで山羊乳 & 山羊ヨーグルトを発見！

目次:

～広岡先生の随筆～ ◎個人主義とおせっかい	2
アメリカ出張	3
羊の毛刈り	3
システム農学会報告	4
お勧め図書	4
新メンバー紹介	5
お知らせ	6

4月末に発信された「新型インフルエンザ(H1N1型)」は、ゴールデンウィーク中の日本の大ニュースとなりました。厚生省は、海外から帰国した人々への「水際対策」検疫や追跡調査などの安全対策をとり、世間ではマスクの売り切れや病院での発熱患者に対する診療拒否など異様な現象を巻き起こしました。京都大学でも新型インフルエンザに対する方針が5月1日に緊急連絡として一斉に送信され、発生国への渡航自粛、発生国からの帰国者に対する7日間の自宅待機が求められました。これは日本の何事にも真剣に取り組む姿勢なのか、それとも扇動されやすさなのでしょうか？

ボール取るンジャー完成！

ソフトボールの試合でもっと効率よくパスボールが取れないか…そんな思いから始まったパスボールを取るためのネット作りの集大成、「ボール取るンジャー三号」がついに完成しました。自立すら出来なかった初号機、トマト用ネットからヒントを得



た二号機を経て持ち運ぶために折りたためるようになった三号



機…。長い道のりでしたが、無事「畜資VS生殖」戦にて初陣を果たしました。今後も改良を重ねソフトボール大会の歴史に名捕手として名を刻んで欲しいです。文責:kim

好評連載 広岡先生の随筆

②個人主義とおせっかい

隣に住むおじさんは、定年退職してから、自分の家の周囲のみならず、町内の1ブロックをすべて掃除してくれる。それに対して、中には妙なプレッシャーを感じて、迷惑がっている人もいるらしいが、われわれは非常に感謝している。特に秋の落葉の季節などには毎日掃除しなければいけないが、家の前の道路をきれいにしてもらっているので、掃除をするスペースが少なくてすみ、本当にありがたく思っている。隣の奥さんがいうには、そのおじさんは家でも自主的に掃除をしているらしい。きれいな環境が好きなようで、やっていることは純粋なボランティア精神からであると聞く。



私の留学先であったオランダは個人主義の国である。個人主義は利己主義とは異なり、個々人の考え方や行動を最大限尊重する考え方である。たとえば、私が何かに悩んでいて頭を抱えていても、声をかけてくれることはないが、もし援助を求めれば、いつも親切に対応して助けてくれる。つまり、オランダ人は過度のおせっかいをすることもされることも嫌う国民なのである。しかし、私と同時期に留学していた友人の家族などは、それが不親切に見えるようで、よくオランダ人の悪口を言っていたが、われわれの家族には気楽で、むしろありがたかった。

京大のロジックはどちらかと言えばオランダ人の考え方とよく似ている。京大の人間の共通認識は、個々人の考え方・生き方を最大限尊重することである。したがって、教育のモットーは「自学自習」、好きな言葉は「自己責任」、教員の多くは「自由にやりなはれ（やりなさい）」を教育方針としている。そして最も嫌がることは、「他人による強要」と「過度のおせっかい」である。

一方、京大で最も評価され、尊敬されるのは、自己の利益に関係なく、強い意志もって行われる自主的な行為である。それは、冒頭で述べた隣のおじさんの掃除のような行為である。それは、このようなおじさんの行為を行うことができる人は京大には少なく、それがゆえに大いに評価されることになる。身近な例であるが、大石先生が院生の時、教授も助手も事務員もいない状況が半年続いたが、彼は毎日専攻事務に行って、郵便を取り種分けしてくれていたそうである。彼は、それを当然のことと考え、一切不平不満を言わずにやっていたが、それを見て、他の研究室の教授はそのことを大いに評価していたと聞いている。また、私事で恐縮であるが、私が家内に一目惚れしたのは、彼女が他人のパソコンを掃除している姿を見てである。

京大のロジックの基本は、個人主義である。したがって、人が主体的に行う行為を妨げたり、邪魔したりすることは他の社会と比べればずっと少ないと考えられる。しかし、同時に、妙なプレッシャーからいやいや従うことをするものもほとんどいない。さらに、そこに強要が伴うようであれば、大きな反発を招き、孤立することにもなりかねない。

京大において何かをなすには、他の社会と比べて、強い意志と純粋なボランティア精神が必要である。それは、個々人の主張や考え方が最大限尊重され、他人からの干渉を強く拒む土壌があるからである。しかし、同時に冒頭の隣のおじさんのような行為は大いに評価され、尊敬されることになる。

広岡博之

アメリカ出張

5月1日から8日まで、アメリカのウイスコンシン大学で行われたシンポジウム「Statistical genetics of livestock for the post genomics era」に参加してきました。ウイスコンシン

大学があるマディソンという都市はウイスコンシン州の州都で大きな街なのかなと思っていたのですが、300メートルほどのショッピングストリートがあるだけで、小さな街でした。観光地ではなく、大学があるだけで、学園都市といった感じです。

さて、本題のシンポジウムですが、まず、集団遺伝学の大御所 J. F. Crow 博士(木村資生先生の指導教官)のスピーチから始まり、続く発表者も世界の第一線で研究している方々でした。今回のテーマは育種の分野で近年注目されている「ゲノム選抜に関する研究」で、発表内容は“Whole genome association analysis”、“Animal functional genomics”、“System biology”と多岐に渡っ



ていました。発表はパワーポイントで行われ、資料の配布がなかったため、研究の詳細を理解するには及びませんでした(英語の勉強をしないといけないですね…)が、現在、第一線で行われている研究を知るには良い機会でした。また、様々な国の大学の学生の話聞き、もっと研究に励まなければと刺激を受けました。

(おまけ)

学会等出張した時の僕の楽しみはその出張先の名物を食べ、飲むことですが、今回のアメリカ出張ではあまりその点で満足できませんでした。今回、トランジットを含めシカゴとマディソンに滞在していましたが、「アメリカ料理は何ですか？」と尋ねても「う〜ん、強いていうならハンバーガーかな。」という答えぐらしか返って来ませんでした。何度かハンバーガーは食べましたが、量が多いばかりで、あまり美味しくはなかったですね。シカゴでは、シカゴピザを食べましたが、やはりイタリアの薄い生地のピザの方が断然美味しいです。アメリカは畜産、育種に関しては日本よりも研究が進んでいるにも関わらず、あまり美味しいものを食べていないので、なにか違和感を感じてしまいました。(記者N)



山羊の駆虫

畜産資源で山羊を飼育し始めてから、そろそろ3年になります。今までのところ、畜産で寄生虫が大きな問題となったのは、導入時の子山羊に発生したコクシジウム症くらいですが、世界的に見ると山羊の寄生虫(特に捻転胃虫)は、たびたび大きな問題を引き起こすようです。

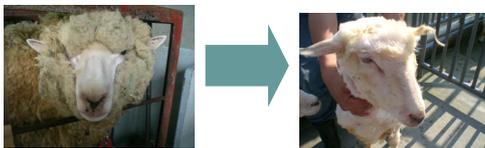


1980年代のオーストラリア・ニュージーランドでは、放牧中のめん羊や山羊に対する駆虫薬の効果低下が大きな問題となり、内部寄生虫の薬耐性についての研究が始まりました。それまでは「定期的な一斉駆虫」というのが家畜に対する駆虫法の主流でしたが、この落とし穴に多くの生産者や科学者が気付いたのです。現在多くの国々で(途上国においても)駆虫薬は比較的手に入りやすく、広く使用されていますが、同時に駆虫薬耐性を持つ内部寄生虫が世界的に広がっていると言われています。ある調査では、駆虫薬が20%以下の効力しか持たない地域があると報告されています。

現在では薬耐性寄生虫の発生をできるだけ抑えるために、駆虫薬に頼らない「総合的な駆虫」と「薬耐性寄生虫検査」が各国で導入されつつあります。ポイントは、①定期的な貧血検査②糞便検査③放牧管理④内部寄生虫耐性の高い個体の選抜です。

羊の毛刈り

5月25日と26日に熊谷先生の指示の下、畜舎にいる6頭の羊の毛刈りを行いました。連日暑い日が続いているので衣替えにはちょうどいい頃です。やる事は羊を押さえバリカンで毛を刈るというだけのはずが、途中で羊が暴れだ



したり、何度か血を見たり、ライオンのような羊に遭遇したりと色々あって終わってみれば疲労感と羊臭さでいっぱいになりました。刈り取った毛はどうするんでしょうかね? 羊も山羊にそっくりになって、あんなに仲が悪かったのに山羊も羊をいじめなくなったような…とにかく皆様お疲れ様でした。

(JC)



手作りバター

新鮮なノンホモ牛乳が手に入ったので、みんなでバターを作りました。静置して分離したクリーム分をそっとすくってピンに移し、振ること15分（チャージング）。真っ白なホイップバターができました。固まった乳脂肪をまな板の上に取り出し、塩を少しずつ混ぜながらナイフで練っていきます（ワーキング）。冷蔵庫で冷やすと美味しいバターが出来上がりました。一緒に作ったプリンも大成功でしたね♪



お店紹介④

赤ちょうちん「せせり」

すっかり暖かくなりましたが、地域によっては、おでん=夏の食べ物と言うところもあるようです。と、ちょっとこじつけてみたところで「せせり」の御紹介。名前を聞いてもピンと来ない人が多いと思いますが、農学部門前の赤ちょうちん屋台です。冬、美味しいおでんと熱燗が気軽に楽しめる店として、人気です。実はこの屋台、通年営業だそうです。おでんのほかにホルモンや肉そば、トン足がお勧めです。営業時間は午後8:00～3:00、日曜定休



システム農学会報告

5月29、30日と東京農業大学にて、システム農学会2009年度春季（創立25周年記念）大会が開催されました。

今回のシステム農学会での発表者が私一人ということで、僭越ながら報告させていただきます。

廣岡先生は29日のシンポジウムから、大石先生と私は30日の一般研究発表会から参加しました。

30日の朝、二階建てのプラットホームに大苦戦しながらも、何とか小田急線に乗り込み最寄の駅に到着。そこで大石先生と合流し、会場へ向かいました。移動中、元気いっぱいに登校している小学生を発見し、発表の緊張もほぐされかけたその瞬間、ベツが小学校の前で停まり小学生が降りてきました。さすが世田谷、と既に街の雰囲気によられてしまいました(笑)。

さて、本題の研究発表ですが、私は五番目の発表でした。発表では、発表者の立ち位置がスクリーンの真横ということで、レーザーポインタで指し示しにくいという地味なアクシデントはありましたが、発表自体はスムーズに終わることができました。しかし、発表を終えた後に悪夢が待っていました。会場からの一つ目の質問は特

に問題なく(とはいえ援護射撃を頂きました)終わることができましたが、二つ目の質問の時に、特に耳の痛い質問ではなかったのですが、なぜか日本語がうまく出てこないという事態が起きました。自分は日本人なのになぜあの時日本語がでてこなかったんだ！と今考えても不思議です。

今回、私は優秀発表賞に応募していたのですが、この質疑の対応が審査員の方にしどろもどろしているように映ってしまったため、風のうわさによると惜しくも(?)賞を取り損ねてしまったようです。まあ、これも経験ですね。次回の発表までにより日本語を勉強したいと思います。

自分の発表のことは書き留えてしまいましたが、今回の学会で「システム」を通じて多種多様な研究、発表技術に見ることができ、とても勉強になりました。これらを今後の研究生活に生かしていきたいと思います。

次回の秋のシステム農学会はつくばで開催され、国際会議となるそうです。システムを扱って研究をされているみなさま、海外の研究者とのつながりも持てるチャンスですし、ぜひ参加されてはいかがでしょうか。

(K)

お勧め図書

今回は、統計解析ソフトSASのハンドブックの御紹介です。

A Handbook of Statistical Analysis using SAS, Third Edition (Paperback)
Geoff Der and Brian S. Everitt 著 (2008)
税込価格: ¥5,970より(Amazon.co.jp)
出版: Chapman & Hall/CRC
ページ数: 392pp
ISBN-10: 1584887842
発行年: 2008

研究で必要となってくる統計解析ソフト、洋書

ですが頑張ってください！と言うにはボリュームが大きすぎます…(^_^;)。でも実はこの本に、訳本があるそうです。『事例とSASで学ぶデータ解析』田崎武信監訳、(株)アーム出版(2001/08)、208ページ。現在は絶版ということですが、アマゾンで中古本が販売されていました(¥10,480)。非常に丁寧に書かれている訳本で広岡先生のお墨付きです。幻の訳本は、畜産資源の研究室のどこかにあるそうですので、興味のある方は是非探してみてください。

(ようこ)

平成21年度

新メンバー紹介

先月号に引き続き、今年度の畜産資源新メンバーを御紹介します。今月号では、5人まとめて一気に御紹介します。

①名前②なんて呼ばれたい?③誕生日④血液型⑤出身地⑥出身大学⑦特技⑧好きなもの⑨嫌いなもの⑩長所⑪短所⑫ひとこと

まずは、酪農家出身の不思議キャラが魅力の新M1、加藤君です。E-307に潜んでいます。

①加藤陽平(かとうようへい)
②なんでもいいけどかわいい系

で

③1986.03.25

④O

⑤青森県むつ市

⑥青森県立青森高校→京都大学森林生物学研究室→畜資

⑦暇つぶし

⑧実家

⑨愛が感じられないもの

⑩子供と年寄りが好きなこと

⑪メンドくさがりなこと

⑫最近のオススメ犬はボーダーコリーです。最近のオススメ猫はマンチカンです。



続いてインドネシアからの勤勉留学生、M1のチチさんです。E-307の住人です。

①SRITA YANI (すりたやに)

②CICI (チチ)

③1982/06/17

④AB

⑤INDONESIA

⑥ANDALAS UNIVERSITY, INDONESIA

⑦Listening music/ hard working.

⑧Reading, watching TV., singing.

⑨Waiting for a long time.

⑩Friendly, cheers.

⑪Moody

⑫I'm very glad can recognize to all our laboratory members everybody are helpful. Thank you very much for help and to guide me.



ここからは、4年生を御紹介します。畜資の妖精、新4年生の千鶴ちゃんです。E-303でお迎えしてくれます。

①荒木千鶴(あらきちづる)

②ちづるちゃん♡

③10月5日

④A型 ⑤京都 ⑥京都女子

⑦暗算

⑧キウイ

⑨雨の日は機嫌が悪いです

⑩物をすてない

⑪陰気

⑫よろぴく



続いては、4年生にしてシェーカーを振る姿が決まっている木村君です。E-307で会えるかも…

①木村悠人(きむらゆうと)

②ジュニア…?

③3/6

④B

⑤大阪

⑥清風南海

⑦お酒を飲む、作る。スポーツ。ゴロゴログダグダする。

⑧肉、魚、お酒、ペット(コーギー)

⑨野菜

⑩マイペース

⑪マイペースすぎる

⑫まだまだ慣れませんよろしくお願いします。ふと研究室からいなくなることもあります、ごめんなさい。



最後に締めしてくれるのは、老成しているという噂のジェシーこと4年生の中川君です。E-303でお腹を空かせています。

①中川靖浩(なかがわやすひろ)

②何でもどうぞ

③7月3日

④B

⑤名古屋市

⑥東海高校

⑦ない 引き出してください

⑧とらやのようかん

⑨生野菜、はち

⑩物を大事にする。

⑪人の話を覚えてない

⑫よろしくお願いします



Department of Animal Husbandry
Resources, Kyoto University,
Faculty of Agriculture
Oiwakekyo, Kitashirakawa,
Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

電話 075(753)6365

FAX 075(753)6365

http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/

GOAT BULLETIN



GOAT BULLETINは、皆様の投稿記事で
成り立っています。形式・文字数は問いません。
また、読者の方々からのご意見やお問合わせも
大歓迎です。下記のアドレスまでどしどし
送信してください。

E-mail: yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp

お知らせ

今月のゼミ

今月のゼミは

6月 2日(火)スリタヤニ・酒井(文献紹介)…済

6月 4日(木)加藤・稲垣(研究計画)…済

6月 9日(火)柳・中川(靖)(文献紹介) 14:45~16:15

6月16日(火)石田・木村(悠)(文献紹介) 14:45~16:15

6月23日(火)荒木・中川(智)(文献紹介) 14:45~16:15

の予定です。教室はいずれもE-103です。急な変更等の連絡にご注意
ください。ゼミ係

研究室の動向

6月8~18日まで、熊谷先生と酒井君がネパールへ研究に出かけます。12・
13日で広岡先生と西尾君が盛岡で開催される「第6回統計遺伝育種研究会」
に参加する予定です。そして、永世畜産資源分野院生の長命さんは、今頃中国
内蒙古にいると言う噂が…。9月に沖縄で開催される日本畜産学会第111回大
会の講演要旨の締め切りは、今月29日です。早めの準備を心がけましょう！

今月のおみや



鹿児島産枇杷、愛知県産のアサリ、北海道のとうき
びチョコ、福岡ひよ子のピナンシェ、境港の妖怪
饅頭、東京名物しっとりバナナクーヘンと銀のぶど
うのラングドシャ、沖縄ちゃんすこうなどが届き
ました。ご馳走様でした~



2009年 6月の飼育当番表

日	月	火	水	木	金	土
5/31	1	2	3 稲垣・中川(靖) 体重測定Ⓞ	4	5	6
7	8	9	10 塚原・加藤 体重測定Ⓞ	11	12	13
14	15	16	17 イクバル・スリタヤニ 体重測定Ⓞ	18	19	20
21	22	23	24 酒井・荒木 体重測定Ⓞ	25	26	27
28	29	30	7/1	2	3	4

編集後記 あっという間にもう6月です。今年から畜資に入った新メンバーも、すっかり研究室に馴染んでいるようです。研究のテーマもそろそろ固まってきて、頼もしい限りです。今月は、新型インフルエンザに始まって学生実験、はくび会ソフトボール大会とあわただしく過ぎていきました。ソフトボール大会では、グラウンドの準備から古くなった用具の新調、日程調整、練習、取るンジャーの作成、打ち上げの準備まで研究の傍ら本当にみんな頑張りました。中心になって活躍してくれた係りさん、お疲れ様でした。最終結果は来月号をお楽しみに…